

地域で学び、地域を学び、地域の中で育む。

兵庫県朝来市

活動名

大蔵まなび隊(大蔵地域自治協議会)

関係する学校

朝来市立大蔵小学校

活動区分		※H25年度の実績(補助の有無についてはH26年度の状況)			
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度	補助の有無
	学校支援地域本部	1人	203人	19年度	有
	放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
		1人	11人	20日	有
	実施場所			開始年度	放課後児童クラブとの連携
	朝来市大蔵地区公民館			14年度	無
コミュニティ・スクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数	

活動の概要

- ・大蔵まなび隊は、平成14年度に学校完全週5日制が実施されたことを機会に公民館事業として各小学校区でスタートした活動の一つ。平成21年度から大蔵地域自治協議会が中心となり実施している。平成23年度からは、放課後子供教室として実施するようになった。
- ・大蔵の生んだ児童文学作家・森はなが『じろはったん』で描いた、思いやり、心のやさしいふれあいをテーマに、児童と大人がともに学び考える活動を行っている。
- ・毎月2回土曜日の午前中を基本に活動している。対象は大蔵小学校の1年生から6年生で、20名程度の子供が毎年参加している。
- ・活動の基本は、地域の人材や資源を最大限に活用した現地体験学習を通じた郷土教育を推進することで、子供たちにふるさとを思う気持ちを醸成させるとともに地域の人々との世代間交流を目的としている。もっと地域のことを「学びたい!」という意味を込めて名付けたまなび隊の活動は、地域の誇りと元気づくりに貢献している。
- ・大蔵地域自治協議会では、小学校と協力してあいさつ運動を展開するとともに、生活安全部会が、児童見守り隊としてPTAと協力して、児童登下校時の安全誘導を実施している。また、環境部会が、児童に農業体験の機会を提供し、体験を通して環境について学習できるよう支援している。

● 特徴

【特徴的な活動内容】

- ・地域の地場産業の工場見学、特産品の「岩津ねぎ」の植付・収穫体験、城跡や神社仏閣など地域歴史遺産の見学、昔遊びやお寺の僧侶の話を聞いたり一緒に遊んだり、地域の自然や歴史、人材を活用した現地体験学習を中心に活動している。
- ・指導者には、地域のそれぞれ達人が当たり、子供と大人が楽しく交流しながら活動を実施しており、学校以外でのふるさと教育の実践活動を支援している。
- ・小学校の環境体験学習として、円山川水棲生物観察などを行っている。

【実施に当たっての工夫】

- ・大蔵まなび隊は、昔遊びや地域の歴史、農業体験、地元の工場見学など地域の人々との交流や現地体験を通じ、子供たちが「地域にはこんな所があり、こんな人がいるのだ」ということを学び、楽しみながら喜びや達成感を味わうことができるように工夫している。
- ・まなび隊で練習した踊りを地域の文化祭で発表するなど、子供たちが地域行事に積極的に参加するよう取り組んでいる。また、地域の人々にも、まなび隊活動に積極的に参加してもらうように呼びかけ、地域・世代間交流の推進と故郷を愛しむ子供たちを育成している。
- ・会報を発行したり、ウェブサイトを開設したりして、活動の内容などを情報発信している。



岩津ねぎの植え付け

● 事業を実施して

一年間の活動を通して、学校では学べない遊びや体験をすることにより、児童が、喜びや達成感を味わいながら楽しく学べるように努めている。子供たちは、地域の人々と触れあうことにより、コミュニケーションが苦手だった子ども、地域の人々と笑顔であいさつができるようになるとともに、地域のことを知ることで、地域への愛着を一層深めていくことができている。

また、地域の人々にとっても、地域の中で活動する子供たちの元気な姿をみることで、より生きがいや喜びにつながっている。

● その他

人口減少傾向にある朝来市では、若者の定住やUターンが重要課題であり、毎年、市内の中学校3年生を対象に「朝来市が好きか」、「朝来市に住み続けたいか」を問うアンケートを実施している。大蔵小学校出身の子供たちの「好き」、「住み続けたい」という回答率が高く、ふるさと教育や地域活性化に貢献している。



地域の文化祭での発表